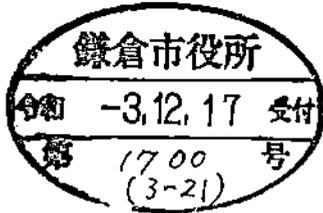


景観配慮協議申出書

令和 3年 12月 17日

(宛先) 鎌倉市長



住所 鎌倉市扇ガ谷4-5-8  
 届出者 氏名 株式会社 斉藤建設  
 代表取締役 斉藤 正朗 印  
 電話 0467-(25)-0567  
 住所 鎌倉市扇ガ谷4-5-8  
 代理人 氏名 株式会社 斉藤建設設計事務所  
 渡邊 俊彦 印  
 電話 0467-(25)-0567

〔法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。〕

次のとおり申し出ます。

土地利用類型 の 名 称	14:住商複合地, 17:産業複合地		
景観地区	<input type="checkbox"/> 内 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 外		
設計者	住所	鎌倉市扇ガ谷4-5-8	
	氏名	株式会社 斉藤建設設計事務所 渡邊 俊彦	電話 0467-(25)-0567
行為の場所	地名地番	鎌倉市笛田1丁目 24番 - 2, 3, 5	
	用途地域	工業地域	防火地域 <input type="checkbox"/> 防火 <input type="checkbox"/> 準防火 <input checked="" type="checkbox"/> 指定なし
	その他	<input type="checkbox"/> 風致地区 <input type="checkbox"/> 歴史的風土保存区域 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
行為の種類	建築物	<input type="checkbox"/> 新築 <input checked="" type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転	
	開発	<input type="checkbox"/> 土地の区画の変更 <input type="checkbox"/> 土地の形質の変更	
特定地区	<input type="checkbox"/> 内 ( <input type="checkbox"/> 由比ガ浜 <input type="checkbox"/> 由比ガ浜中央 <input type="checkbox"/> 鎌倉美術館周辺地区 ) <input checked="" type="checkbox"/> 外		
行為の期間	着手予定	2022年 1月 31日	完了予定 2022年 5月 31日

(裏)

建 築 物 の 概 要	用 途	事務所、自動車車庫				
	最 高 の 高 さ	15.18 m	階数	地上 4 階 地下 0 階		
	構 造	鉄骨造				
	敷 地 面 積	876.48 m <sup>2</sup>				
	建 築 面 積	509.78 m <sup>2</sup>	届出以外 の部分	0 m <sup>2</sup>	合計 509.78m <sup>2</sup>	
	延 べ 面 積	1,111.85 m <sup>2</sup>	届出以外 の部分	0 m <sup>2</sup>	合計1,111.85m <sup>2</sup>	
	屋上に設置する建築 設備の種類及び高さ	<input type="checkbox"/> 高架水槽 m		<input type="checkbox"/> その他 m		
	色彩の変更部分 とその面積	面積 m <sup>2</sup>				
	仕 上 材 (事務所)	屋 根	陸屋根:ウレタン塗膜防 水 斜屋根:ガルバリウム鋼 板	色 彩 (事務所)	屋 根	5B6/0.5 (グレー) N3 (濃灰)
		外 壁	ALCパネルの上、 吹付塗装 鉄骨フレーム、アルミパネル: 塗装		外 壁	5PB7.5/0.5 (グレー) N3 (濃灰)
仕 上 材 (自動車 車庫)	遮光 ネット 落下 防止 柵	PVC (ポリ塩化ビニル)  鋼材 (溶融亜鉛メッキ仕 上)	色 彩 (自動車 車庫)	遮光 ネット 落下 防止 柵	N3 (濃灰) N7 (グレー)	
	柱梁	鋼材 (溶融亜鉛メッキ仕 上)		柱梁	N7 (グレー)	
	2層 目床 面	鋼板:フェッカープレート、イ クパントマル (溶融亜鉛 メッキ仕上)		2層 目床 面	N7 (グレー)	
開 発 行 為 の 概 要	開 発 区 域 の 面 積	m <sup>2</sup>				
	行 為 の 目 的	分割 ( 区画 ) (最小区画面積 m <sup>2</sup> )	その他 ( )			
	行 為 の 内 容	切土 ( m <sup>3</sup> )	盛土 ( m <sup>3</sup> )	その他 ( )		

(注) 1 仕上材欄には、表面仕上の材料をできるだけ詳しく記入してください。

(例: 日本瓦、波型スレート、小口タイル等)

2 色彩欄には、マンセル表色系を記入してください。

3 この届出書には、景観配慮に関する見解書及び鎌倉市都市景観条例施行規則別表第1に掲げる図書を添付してください。

景観配慮に関する見解書

1. 共通事項

行為計画地周辺の景観の特徴(景観的特性、景観資源等)をつかみ、記入する。

着 眼 点	計 画 地 周 辺 の 現 況 等 記 入 欄
地 域 的 特 徴	工場、商業施設、住宅地等の多様な用途の建物が混在する
ま ち 並 みの 連 続 性	県道沿いに商業施設、共同住宅、工場等が建ち並ぶが、構成する建築物は中規模であり秩序のあるスカイラインが形成されている。
周 辺 建 物 の デ ザ イン	工場、住宅、商業施設等の建物がある。 多種多様なデザインの建築物が混在する。
眺 望 景 観	県道沿いの中規模建築物群により、ゆるやかな秩序をもつスカイラインが形成されている。
景 観 資 源	南西側の遠方に新林公園がある。

2. 建築物の建築

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項 目	自 己 評 価	配 慮 事 項 記 入 欄
配 置	◎	従前の建物配置を踏襲した増築・建替えの配置計画とした。 エレベーターの増築に際し、道路側から5m程度セットバックした配置にすることで、まち並みとしての威圧感を低減した。
形 態 意 匠	◎	事務所は既存建物を改修・増築し、駐車場も老朽化した建物の建替工事とし、規模・形態は従前を踏襲した。規模・形態は従前を踏襲し、周辺環境への負荷がかからないように配慮した。
色 彩	◎	周辺環境になじみ調和するような配色とした。
建 築 設 備	○	建築設備は、事務所棟と駐車場棟の間に、可能な限り集約し設置することで周囲から目立たなくなるように配慮した。
外 構 緑 化	△	道が面する西側に植栽を施すよう計画した。 (他の外構緑化は利用開始後に、段階的に充実を図る予定である。)

3. 開発行為

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項 目	自 己 評 価	配 慮 事 項 記 入 欄
造 成		
擁 壁		
敷き際・緑化		